

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.22)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	トーカイ京都工場新築工事	階数	地下1階地上5F
建設地	京都府八幡市	構造	S造
用途地域	準工業地域、法22条区域	平均居住人員	60人
気候区分	5地域	年間使用時間	3,100時間/年
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年1月 予定	評価の実施日	2015年2月20日
敷地面積	5,082㎡	作成者	林 孝司
建築面積	2,183㎡	確認日	2015年3月1日
延床面積	8,715㎡	確認者	林 孝司



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.4

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.8

### LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

### 3 設計上の配慮事項

<p>クリーニング工場で、病院のリネン等を扱う部門(主にB1~3F)とシルバー(車いす等)を扱う部門(主に4,5F)に分かれる。3F・4Fにそれぞれの事務エリアをもつ。工場内の換気に留意し、事務部門では十分な休憩スペースを設けるなど快適性に配慮。</p>	<p>特にありません。</p>
<p>事務エリアは西側にまとめて配置し、自然採光・通風ができる環境とする。工場エリアは特に熱気のかもる1F~2F吹抜の換気に配慮。</p>	<p>清潔さを保てるよう、塵埃の溜まりにくい形状や清掃しやすい素材に配慮。 設備機器の更新しやすさについて配慮。</p>
<p>自然エネルギー利用として、屋上に太陽光発電パネル64kWを設置する。</p>	<p>汚染物質含有材料の使用回避。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される